

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

	番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
111	1	1	1	1	特産品開発及び農業の6次化研修事業	商工観光G	1件	特産品の開発	累計5品以上	累計10品以上	0件	継続	累計3件 ※R3 3件	継続	累計3件 ※R4 0件	継続	累計7品 R5:4品	継続	①評価項目の要因 ノンフライおかき、チャーシューおにぎり、熊笹塩こしょう(肉用)、熊笹塩こしょう(魚用)の開発 ②今後の展開 地場産品を使った商品を開発中
112	2	1	1	2	事業承継・新規開業支援補助の推進事業	商工観光G	4件	新規開業者数	累計5件	累計10件	5件	継続	累計8件 ※R3 3件	継続	累計10件 R4 2件	達成	累計15件 R5:5件	達成	①評価項目の要因 移住者による空き家を活用した新規開業等により地域の活性化が図られている。 ②今後の展開 新規開業が続いているが、今後も地域発展に資する事業者等に対し補助を継続する。
113	3	1	1	3	企業誘致条例による企業誘致の推進	企画係	0件	新規開業者数	新規開業者数 5件	新規開業者数 10件	5件	継続	累計8件 ※R3 3件	継続	累計10件 R4 2件	達成	5件	達成	①評価項目の要因 事業承継・新規開業支援補助事業などを活用した新規開業者数が増えている。 ②今後の展開 企業誘致条例などの開業を後押しできるような支援内容の周知を積極的に実施したい。
114	4	1	1	4	地熱・温泉資源活用の推進	企画係	0件	再生可能エネルギー利活用事業	再生可能エネルギー 利活用事業 累計 1件	再生可能エネルギー 利活用事業 累計 2件	0件	継続	1件	継続	累計1件 ※R3:0件	継続	累計1件 ※R4:0件	継続	①評価項目の要因 層雲峡キャンプ場の整備が令和元年度から始まっており、環境に配慮した再生可能エネルギー(バイオマスボイラー)の導入を実施した。 ②今後の展開 カーボンニュートラルをめざし、今後SDGsなどと連動させた地球温暖化計画の更新を検討していくため、協議会の立上げ及び再生可能エネルギー導入目標数値をR5年度に策定、R6年度中に地球温暖化実行計画(区域施策編)を策定予定。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧																			
番号	施策番号				事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
121	5	1	2	1	観光振興の充実事業	商工観光G	499,432人	宿泊者数	宿泊者数 年間65万人	宿泊者数 年間70万人	157,639人	継続	152,944人	継続	291,235人	継続	391, 087人	継続	①評価項目の要因 新型コロナが5類移行したことに伴い宿泊者数が回復傾向であるが、基準年に達していない。 ②今後の展開 インバウンドを中心に入込自体が伸びているため、宿泊者数においても上質化やイベント等で活性化を進め滞在型の観光地を目指す。
121	5	1	2	1	観光振興の充実事業	商工観光G	157,198人	外国人観光客 宿泊者数	年間25万人	年間30万人	49人	継続	54人	継続	2,192人	継続	157458人	継続	①評価項目の要因 新型コロナが5類移行したことに伴い宿泊者数が回復傾向であるが、基準年に達していない。 ②今後の展開 インバウンドの入込が伸びているため、宿泊者数においても上質化やイベント等で活性化を進め滞在型の観光地を目指す。
							52.7%	層雲峡温泉客 室年間稼働率	65.0%以上	67.0%以上	17.1%	継続	16.3%	継続	33.90%	継続	43.90%	継続	①新型コロナが5類移行したことに伴い宿泊者数が回復傾向であるが、基準年に達していない。 ②インバウンドを中心に入込自体が伸びているため、宿泊者数においても上質化やイベント等で活性化を進め滞在型の観光地を目指す。
121	6	1	2	1	官民連携による重点地区国内外プロモーション事業	商工観光G	1,586,501人	観光客数	年間 180万人	年間 190万人	548,395人	継続	423,913人	継続	934,163人	継続	1,332,250人	継続	①評価項目の要因 新型コロナが5類移行したことに伴い観光客入込数が回復傾向であるが、基準年に達していない。 ②今後の展開 インバウンドを中心に入込自体が伸びているため、今後上質化やイベント等で活性化を進め滞在型の観光地を目指す。
121	7	1	2	1	情報配信システム整備事業 (WiFi整備)	情報防災係	0箇所	Wi-Fi設置数	3箇所増 (7か所→10か所)	5箇所増 (7か所→12か所)	4箇所増 累計11箇所	継続	0箇所増減なし 累計11箇所	継続	1箇所増 累計12箇所	達成	0箇所増減なし 累計12箇所	達成	R4年度 ①評価項目の要因 【R3まで】→公民館図書(かみんぐホール)、上川駅、森のテラス、写真M、黒岳の湯、層雲峡プロムナード広場、滝ミタラ、役場、紅葉谷、たいせつの絆、NUKUMO 計11箇所 【R4年度】→層雲峡オートキャンプ場 1箇所 合計12箇所 ②今後の展開 デジタル社会への対応のため、未整備の公共施設への導入を検討する(認定こども園など)
121	8	1	2	1	大雪カムイミタラDMOによる都市型スノーリゾート地域構築事業	移住定住G	1,504千泊	DMO圏域観光 宿泊延数(千泊)	年間1,910千泊 ※R2目標	-	現在、DMO で集計中	評価不能	R2で事業終了						
							352千泊	DMO圏域冬季 12月～3月観光 宿泊延数(千泊)	年間520千泊 ※R2目標	-	現在、DMO で集計中	評価不能							
							68千円	旅行消費額(千 円/人)	48千円 ※R2目標	-	現在、DMO で集計中	評価不能							

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

	番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
121	9	1	2	1	「北海道の自然・食・文化を活かしたコンテンツ創出」×外国人の活躍　～稼ぐ観光の実現～	地域未来創造係	104,984円	外国人観光客 (新千歳空港入国)旅行消費単価	107,062円 ※R3目標	-	現在、道庁担当課で集計中	評価不能	感染症の影響により 数値の基となる観光庁調査が未実施のため、測定不可	評価不能	-	評価不能	-	評価不能	R5年度事業未実施
							2,722,587人	欧米豪・中国からの来道者の延べ宿泊数	3,630,117円 ※R3目標	-	現在、道庁担当課で集計中		感染症の影響により 数値の基となる観光庁調査が未実施のため、測定不可	評価不能	-	評価不能			
122	10	1	2	2	新規就農者誘致特別措置奨励金事業	農林水産G	5人	新規就農者	累計 5人	累計 8人	0人	継続	5人	達成	累計 10人 ※R4 4人	達成	累計16人 ※R5:6人	達成	①本制度の目的である農業従事者として町内に定着することが図られており、基準年の目標値についても達成している。 なお、制度の活用者は若年者が多く、なかには世帯単位での移住者もあり、移住施策としての側面も果たしている。 ②今後においては、各農業事業所の人手不足が深刻な状況であることから、予算額の想定を的確にとらえることや、他国からの農業従事者も拡大していることから、そういった方への支援の有無、あり方についても検討を図る必要があると考える。
123	11	1	2	3	森林資源有効活用事業	農林水産G	1人	林業関連就業者数	累計5人	累計10人	3人	継続	0名	継続	累計5名 ※R4 2名 ※4名離職	継続	累計4名	評価不能	まず、林業人材の増加が目標であったと考えるが、基準年となった累計令和2年度の3人から2名多い状況の5名となっている。しかしながら、離職者も多く現在の人数は4名にとどまっている。
							4施設	バイオマスボイラー導入施設	3施設増加 (累計7施設)	5施設増加 (累計9施設)	0施設	継続	0施設	継続	0施設	継続	0施設	継続	①評価項目の要因 バイオマスボイラーのイニシャルコストが高価 木材価格の高騰による燃料高騰②今後の展開 関係各所への強力依頼
124	12	1	2	4	おもてなし推進事業	企画係	1,586,501人	観光客数	年間180万人	年間190万人	548,395人	継続	423,913人	継続	934,163人	継続	1,332,250人	継続	①評価項目の要因 新型コロナの影響が明けてきたことで観光客は戻りつつある。観光客を受け入れる体制づくりといて、啓発グッズの作成・配付と中学生を対象としたレストラン研修を実施してきている。 ②今後の展開 今後は、事業者向けの研修会の実施と啓発グッズの作成・配付・周知方法の更なる工夫を検討。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧																			
番号	施策番号				事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
211	13	2	1	1	トライアル移住とローカルベン チャー支援を核にした移住定住促 進プロジェクト	移住定住G	—	年間社会増減 数(人)	0人 ※R2目標	—	-70人	継続	R2で事業終了						
							—	商品開発・実証 活動等に対する 支援業務を活用 して町内へ移住 した人数(人)	累計24人 ※R2目標	—	累計19名	継続							
							—	週末移住活動 拠点施設を利用 して週末移住を 実践した人の延 べ人数(人)	年間800人 ※R2目標	—	504人	継続							
211	13	2	1	1	トライアル移住とローカルベン チャー支援を核にした移住定住促 進プロジェクト	移住定住G	—	本事業を通じた 新たなビジネス 創出件数(件)	累計5件 R2目標	—	累計10件	継続	R2で事業終了						
							169件	移住相談件数	累計50件	累計100件	84件	継続							
							未実施	ちよつと暮らし体 験施設利用件 数	累計25件	累計40件	1件	継続							
							—	サテライトオフィ ス等利用企業件 数	累計10件	サテライトオフィス等 利用企業件数累計 20件	0件	継続							

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧																		
番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
211		2	1	1	風土水×地方×都市が育むWell-beingな ライフスタイル推進プロジェクト～未来の上川人育成推進事業～	企画G	—	生産年齢人口 の転入者数	15人増 ※R2 118人 ※R6 133人	—	—	—	—	161人 増加分43人	達成	234人 増加分116人	達成	①評価項目の要因 学校だけでなく、地域全体を活用した教育を展開しており、独自のプログラムと探究学習を導入している。都市部では得られにくい、実践的・体験的な学びの場を提供できていることが大きい。 ②今後の展開 地域資源を活用した探究学習(要素)を強化し、教育を軸とした地域活性化モデルの確立を実施したい。
							—	魅力発信事業 発行によるSNS へのリーチ数	7,500人増 ※R2 0人 ※R6 7,500人以上	—	—	—	—	537,410人	達成	685,100人	達成	①評価項目の要因 学校だけでなく、地域全体を活用した教育を展開しており、独自のプログラムと探究学習を導入している。都市部では得られにくい、実践的・体験的な学びの場を提供できていることが大きい。 ②今後の展開 地域資源を活用した探究学習(要素)を強化し、教育を軸とした地域活性化モデルの確立を実施したい。
							—	人材(次世代担 い手)育成プロ グラムの参加者 数	300人増 ※R2 0人 ※R6 300人以上	—	—	—	—	52人	継続	265件	継続	①評価項目の要因 学校だけでなく、地域全体を活用した教育を展開しており、独自のプログラムと探究学習を導入している。都市部では得られにくい、実践的・体験的な学びの場を提供できていることが大きい。 ②今後の展開 地域資源を活用した探究学習(要素)を強化し、教育を軸とした地域活性化モデルの確立を実施したい。
							—	上川高校の入 学者数の増又 は現状維持	20人以上 ※R2 17人 ※R6 20人以上	—	—	—	—	25人 増加分8人	達成	21件 増加分1人	達成	①評価項目の要因 学校だけでなく、地域全体を活用した教育を展開しており、独自のプログラムと探究学習を導入している。都市部では得られにくい、実践的・体験的な学びの場を提供できていることが大きい。 ②今後の展開 地域資源を活用した探究学習(要素)を強化し、教育を軸とした地域活性化モデルの確立を実施したい。
211	14	2	1	1	世界に誇る通年型山岳リゾートタウン実現プロジェクト	地域未来創造係	671千円	上川町版DMO における旅行商 品等売上収入 額(千円)	年間30,500千円 ※R4目標	—	7,375千円	継続	2,019千円	継続	2,874千円	継続	R4で事業終了	
							3,119人	アウトドア拠点 施設(町有キャン プ場)の利用者 数(人)	年間11,000人 ※R4目標	—	3,343人		6,097人	継続	7,032人	継続		
							15.7万人	上川町内にお ける外国人宿泊 客数(万人)	年間27万人 ※R4目標	—	0.005万人		54人	継続	4.8万人	継続		
							34.3万人	上川町内にお ける国内宿泊者 数(万人)	年間44.6万人 ※R4目標	—	16.5万人		152,944人	継続	25.4万人	継続		

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号				事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
212	15	2	1	2	就業支援事業	地域未来創造係	—	無料職業紹介所マッチング件数	年間2件	年間2件	1件	継続	実績値0件	継続	0件	継続	0件	継続	①問い合わせはあったが、マッチングには至らなかった。また、無料職業紹介所(上川町役場)を介さずに、直接事業者への問い合わせ及びマッチングが行われていることや商工会、社会福祉協議会の窓口を利用していることも要因と考えられる。 ②新規求人情報の掲載や既存の求人情報更新、パンフレットの周知等。
213	16	2	1	3	生涯学習事業	社会教育G	—	公民館講座開設数	14講座	17講座	4講座 6回開催	評価不能	7講座 11回開催	評価不能	9講座 18回開催	継続	11講座 20回開催	継続	①全体として講座の開催が少なかった要因として、地域住民のニーズや興味を把握しきれていないことで講座を企画することが困難だったことや講師選定を苦慮したことで実施したかった企画が実現できなかったことが一因である。一方で地域を学ぶ自然学習や教養・趣味講座は例年継続的に実施しており、生涯学習の推進が図られている。 ②住民の多様な学習要望に応え、講座の開催、学習情報の提供、指導者派遣等を実施していく。
								公民館講座参加延べ人数	200人	200人	延べ110人	評価不能	延131人	評価不能	延165人	継続	延163人	継続	
221	17	2	2	1	空き家・空き家バンク情報発信事業	地域未来創造係	5件	不動産物件情報登録件数	年間5件	年間5件	8件	継続	6件	継続	2件	継続	6件	継続	①H30年度からの事業実施により、登録可能な物件の母数が減少していると考えられるが町外への転出も同じくあり、制度の活用が続く模様。 ②利活用可能な物件へ空き家バンクの情報を周知することや町内において相談会行うことで空き家の利活用を促進する。
222	18	2	2	2	空き家改修支援事業・住宅建築促進支援事業	地域未来創造係	9件	空き家改修支援・住宅建築支援件数	年間5件	年間5件	4件	継続	3件	継続	3件	継続	2件	継続	①若者世代を中心に賃貸へのニーズが強い一方、移住世帯が年齢を重ねることで戸建ての需要も増える可能性がある。資材費の高騰もあり、数値的には横ばい ②空き家バンクへの登録促進や広報誌、回覧文書等で補助金の周知を行っている。
223	19	2	2	3	リフォーム補助事業事業	建設管理G	50	リフォーム補助件数	年間23件	年間23件	22	継続	23件	継続	33件	達成	23件	継続	①評価項目の要因 事業実施から10年程度経過し、広く認知され、事業活用(解体が増加傾向)を検討する町民からの問い合わせ等の件数も多く、今後も増加が見込まれる。 ②今後の展開 解体、浄化槽、融雪槽、エコ・バリアフリーなど新エネルギーを中心とした事業への関心の高まりもあることから、今後、補助対象リフォーム等の各内容等の見直しを検討し、地域環境の整備、住宅環境、雪対策の向上、経済の振興を図る。
231	20	2	3	1	サテライトオフィス等誘致事業	地域未来創造係	—	サテライト・オフィス等利用企業件数	累計10件(年平均2件)	累計20件(年平均2.5件)	0件	継続	PORTOにおける年間パス利用企業数1件(環境省)	継続	PORTOにおける年間パス利用企業数1件(環境省)	継続	PORTOにおける年間パス利用企業数1件(環境省)	継続	①交流スペースPORTOの開設及び近隣エリアにおける新規開業の相乗効果により、町内外からの訪問者が立ち寄るスペースとして、確立しつつある。利用企業件数は1件であるが企業の従業員やフリーランスとして、活用されるケースが多い。 ②来訪者が近隣施設や店舗と周遊するような利用のほか、町内の学生や高齢者にも活用される拠点づくりを進めていく。

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号				事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
232	21	2	3	2	上川町ふるさと応援寄付事業	企画係	1,673件	ふるさと納税寄 附件数	年間 1,500件	年間 1,800件	4,392件	達成	4,125件	達成	3,916件	達成	4,343件	達成	①評価項目の要因 昨年度に引き続き、はちみつと日本酒が人気であった。10月の制 度改正に伴い9月に駆け込みでの寄附も多くあり、件数の増加に 繋がった。 ②今後の展開 今後も継続してふるさと納税の冊子やポスターの作成及び大雪 山レーベル(特産品特設サイト)などの媒体の活用や現地決裁型 の端末を用いてイベントなどに活用していく。
311	22	3	1	1	安心して出産するための支援事業	健康増進G	100%	①妊産婦健康 診査の受診率	90%以上	90%以上	100%	継続	100%	継続	100%	継続	100%	継続	①評価項目の要因 妊産婦健診を必要な時期に利用しているかを評価 ②今後の展開 個々の妊娠届出週数や産院によって受診回数に差はあるが、全 員が必要な受診間隔で受診している現状であり、これを維持
							100%	②妊産婦交通 費助成の利用 率	100%	100%	100%	継続	100%	継続	100%	継続	100%	継続	①評価項目の要因 妊娠中・産後を通じ、受診回数に応じて妊産婦が助成事業を活 用しているかを評価 ②今後の展開 健康相談・訪問を通じ申請を促し、全妊産婦が申請している現状 であり、これを維持。また、状況の変化に応じ適宜助成内容の見 直しを図る。
311	23	3	1	1	子ども医療費助成事業	医療給付G	H31 19人	年間出生数	累計110人	累計194人	14人	継続	11人	継続	5人	継続	11人	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子ど もの出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ど もの出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
							H27 357人	年少人口	330人(国調)	330人(国調)	R2国調数値 未公表	継続	263人(国調)	継続	263人(国調)	継続	263人(国調)	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子ど もの出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ど もの出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
311	23	3	1	1	子ども医療費助成事業	医療給付G	263人	年少人口	328人(年度末住 基)	345人(年度末住 基)	244人(年度 末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	206人(年度末住基)	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子ど もの出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ど もの出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
311	24	3	1	1	出産祝い品贈呈	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間 平均22人)	累計 194人(年間 平均23.6人)	令和2年度出 生数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	令和4年度出生数 6人	継続	令和5年度出生数 11人	継続	①評価項目の要因 出産等に係る支援制度の取り組みを引き続き推進することで、上 川町での出産・子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 関係各課と連携し、町に由来する新しい出産祝品の検討を行う。
							263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度 末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	206人(年度末住基)	継続	

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
25	3	1	1	出産祝金の贈呈	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間 平均22人)	累計 194人(年間 平均23.6人)	令和2年度出 生数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	令和4年度出生数 6人	継続	令和5年度出生数 11人	継続	①評価項目の要因 出産等に係る支援制度の取り組みを引き続き推進することで、上川町での出産・子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 第3子に対し祝い金100千円を支給。
						263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度 末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	206人(年度末住基)	継続	
26	3	1	2	施設型給付事業	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間 平均22人)	累計 194人(年間 平均23.6人)	令和2年度出 生数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	令和4年度出生数 6人	継続	令和5年度出生数 11人	継続	①評価項目の要因 ・子育て世代の経済負担である保育料等の軽減を図ることで、上川町での子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 ・R6年度まで引き続き財政支援を継続。 ・R7年度より認定こども園開設に併せて私立幼稚園が閉園
26	3	1	2	施設型給付事業	介護福祉G	263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度 末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	206人(年度末住基)	継続	
27	3	1	2	一時預かり運営事業	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間 平均22人)	累計 194人(年間 平均23.6人)	令和2年度出 生数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	令和4年度出生数 6人	継続	令和5年度出生数 11人	継続	
						263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度 末住基)	継続	235人(年度末住基)	継続	225人(年度末住基)	継続	206人(年度末住基)	継続	
28	3	1	3	上川ジャンプアップひろば・地域未来塾事業	社会教育G	—	学習支援の提供	年間7日間開催	年間7日間開催	1日間開催	評価不能	5日間の開催	評価不能	12日間の開催	達成	23日間の開催	達成	①対象者(小学生と中学生と高校生)のニーズを把握し、それに 応じた学習支援プログラムを提供していることで参加者や保護者 からの学習支援の要望につながっている。要望に応じ開催時期 や開催場所を選定することにより、実施回数を増やすことができ ている。また、大学との連携により大学生が当町まで来訪し、直接教 えてくれることで参加者の満足度が高まり、継続的な参加につな がっていることも影響としては大きい。 ②学習支援の情報を効果的に広め、対象者にリーチできるように していく。また、参加者からのフィードバックを積極的に取り入れ、 プログラムの改善に役立てることで、より良い学習支援の提供をし ていく。
							参加者延べ人数	学習支援参加者数 延170人の参加	学習支援参加者数 延170人の参加	17人参加	評価不能	207人参加	評価不能	426人参加	達成	489人参加	達成	
29	3	1	4	上川高校魅力活性化事業	社会教育G	37人	上川高校の入学者数	毎年20人以上	毎年20人以上	17人	継続	14人	継続	25人	継続	21人	達成	①学校の魅力や特色を地域や中学生に効果的に伝えれたことで 上川高校と上川町での教育活動が評価されたことが大きいと考え る。地域との連携を強化し、生徒や地域のニーズに応じた教育活 動を展開することで、上川町の特性を生かした教育を実践できた ことも一因と考える。 ②学校のカリキュラムや教育プログラムのより一層の充実をはかっ ていきたい。
30	3	2	1	結婚支度金支給事業	介護福祉G	0件	年間婚姻数	年間婚姻数累計100 件(年間平均20件)	年間婚姻数累計160 件(年間平均20件)	9件	継続	8件	継続	3件	継続	5件	継続	①評価項目の要因 上川町に住民票があつて婚姻届けを提出した方が対象。 昨年同様に上川町内における生産人口が少ないため、結婚数の 減とつながっている。 ②今後の展開 令和6年度より上川町独自として、結婚新生活支援事業を開始。
31	3	2	2	出会いの場の創出事業	企画係	0回	出会いの場の 創出	年に1回交流会を開 催	年に1回交流会を開 催	0回	継続	0回	継続	1回	達成	1回	達成	①評価項目の要因 上川町農村パートナー推進協議会主催で若手農家と若年層との 交流事業としてスポーツレクが開催され、普段交流が無い職種な どの若年層を中心に若手農家との交流が行われた。 ②今後の展開 町外出身者が求めることとして、結婚相手を探すよりもまずは知人 として共通の趣味でつながりたい意向が強い傾向にあるので、今 後は異性の出会いの場のみならず多種多様にコミュニティを形成 する場の創出を検討する。

第2期 上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧																			
番号	施策番号				事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
411	32	4	1	1	産業振興支援補助の推進事業	商工観光G	2件	産業振興補助 の活用者数	累計5件	累計10件	3件	継続	累計8件 ※R3 5件	継続	累計13件 ※R4 5件	達成	11件	達成	①評価項目の要因 事業所からの上質化、長寿命化等を目的とした本補助金の活用により事業の円滑化・地域の活性化が図られている。 ②今後の展開 今後も継続して地域発展に資する事業者等に対し補助を継続する。
412	33	4	1	2	上川町マスコットキャラクター情報 発信事業	企画係	1,858人 ※R2年10月	X(旧Twitter)登録人数	2,420人(※R2年10 月1,858人)	2,800人(※R2年10 月1,858人)	2314人 フォロワー (※R3年8月 13日時点)	継続	2,767人 (R4年10月17日 時点) 453人増※前年 度比	達成	3,043人 (R5.12.21時点) 276人増 ※前年度比	達成	3,187人 (R7.1.15時点) 144人増 ※前年度比	達成	①評価項目の要因 定期的な更新がされている「かみっきーのX」については、フォロ ワー数が増加しているが、更新頻度にムラがあるアカウントについ ては、微増・微減になっている。LINEについても微増となってい るが、定期的な更新がされている現状を踏まえると、生活情報を LINEで受け取るユーザーがある程度最大値になっていることが考 えられる。 ②今後の展開 どの世代がどのような情報を求めているかなど発信する情報の整 理とどの媒体を使って発信をしていくのかマーケティングを実施し ていきたい。また、LINEに関しては登録者の地域ごとに効果的な 情報を発信できるように運用を検討していく。
							559人 ※R2年10月	Facebook登録人数	730人(※R2年10月 559人)	850人(※R2年10月 559人)	582人 フォロワー (※R3年8月 13日時点)	継続	1,104人 (R4年10月17日 時点) 522人増※前年 度比	達成	1,211人 (R5.12.21 時点) 107人増 ※前年度比	達成	1,257人 (R7.1.15 時点) 46人増 ※前年度比	達成	
							331人 ※R2年10月	Instagram登録人数	430人(R2年10月 331人)	500人(R2年10月 331人)	388人 フォロワー (※R3年8月 13日時点)	継続	1,539人 (R4年10月17日 時点) 1,151人増※前年 度比	達成	2,071人 (R5.12.21 時点) 532人増 ※前年度比	達成	2,048人 (R7.1.15 時点) 23人減 ※前年度比	達成	
							0人 ※R3年	LINE登録人数 (上川町公式 LINE)	2,475人(R4年10月 1,904人)	2,856人(R4年10月 1,904人)	新規	—	1,904人 (R4年10月17 日時点)	継続	1,034人 (R5.12.14時点) 870人減 ※前年度比	継続	1,053人 (R7.1.15時点) 19人増 ※前年度比	継続	
412	34	4	1	2	花いっぱい会の会交付金事業	企画G	158事業所	商工会会員数	商工会会員数161事 業所維持	商工会会員数161事 業所維持	商工会会員 数 154事業所	継続	商工会会員 数 152事業所	評価不能 ※令和3年度で 解散のため、令 和4年度は評価 対象外	R3年度で団体解散による事業終了				
413	35	4	1	3	いきいきセンターたいせつの絆の 利用促進	介護福祉G	171事業所	商工会会員数	商工会会員数161事 業所維持	商工会会員数161事 業所維持	商工会会員 数 154事業所	継続	商工会会員 数 152事業所	継続	商工会会員 数 152事業所	継続	商工会会員 数 153事業所	継続	①評価項目の要因 多世代の人々が活用することにより、市街地の賑わいの醸成につ ながる。 ②今後の展開 いきいきセンターたいせつの絆の利用促進を図る。
414	36	4	1	4	公共施設等の適正な維持管理	財政係	80,629㎡	施設保有面積	73,372㎡ 9%の削減(7,257㎡ の減)	69,341㎡ 14%の削減(11,288 ㎡の減)	80,531㎡	継続	81,054㎡	継続	81360.46㎡	継続	81,113.30㎡	継続	①望岳団地1棟(196.56㎡)、西町町有住宅1棟(50.6㎡)の除却 により前年度から施設保有面積の減少は図れたが、基準年よりは 減少を図ることができなかった。 ②各施設計画の見直すとともに、今後の施設の在り方を協議検 討し、施設保有面積の減少に努める。
421	37	4	2	1	災害情報伝達設備整備事業	情報防災係	0団体	被災による死傷 者数	年間0人	年間0人	0人	継続	0人	継続	0人	継続	0人	継続	①評価項目の要因 R5年度の死者なし ②今後の展開 今後も防災無線を活用した訓練を実施し、安心安全なまちづくり を行ってきた。
								災害協定締結数	20団体	20団体	20団体	継続	21団体	継続	21団体	達成	22団体	達成	①評価項目の要因 令和5年度中1件の協定締結あり。 ②今後の展開 避難所電力供給の拡充に向けて各所と調整
422	38	4	2	2	後期高齢者における総合的な保健 事業	健康増進G	20.00%	健康診査受診率	18%以上	20%以上	17.77%	継続	18.87%	継続	18.50%	継続	19.90%	継続	①評価項目の要因 一人ひとりへの丁寧な保健指導により受診率を維持・向上してい きたい ②今後の展開 健康診査受診率20%以上

第2期上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画(課内評価シート)一覧

番号		施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R4年度 KPI実績値	R4年度 評価項目	R5年度 KPI実績値	R5年度 評価項目	R5年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
423	39	4	2	3	訪問診療体制整備事業	医療事務G	0件	訪問診療希望 に対する 未提供件数	未提供件数 年間0 件	未提供件数 年間0 件	0件	達成	未提供件数 年間0件	達成	未提供件数 年間0件	達成	未提供件数 年間0件	達成	①評価項目の要因 令和5年度の訪問診療は131人、訪問介護と訪問リハビリは該当 なしであった。訪問診療について、昨年度より22人の増となっており、継続して高い数値となっている。 ②今後の展開 未提供件数年間0を目指すとともに現行体制を継続する。
	40	4	2	4	地域公共交通事業の推進	総務係	2,777人 ※令和元年 10月～	コミュニティバス 利用者数	年間4,000人	年間4,000人	4,698人	達成	4,882人	達成	5,273人	達成	5,190人	達成	①年間の達成目標を超えているため ②R6年度中に運行経路と時刻表の変更をするため、利用者の増加を願う。
424	41	4	2	4	高齢者タクシー料金等助成事業	介護福祉G	18.83%	要支援・要介護 認定者の介護 保険被保険者 数割合(年度 末)	19.00%	19.00%	19.80%	継続	20.19%	継続	20.19%	継続	20.33%	継続	①評価項目の要因 高齢者が引きこもりがちにならないよう、また高齢者の社会参加 や健康増進、生きがいある生活の一助となるよう継続とし、さらなる 介護予防を図っていく。 ②今後の展開 引き続き上記のための交通手段の確保として、継続して事業を 実施していく。周辺地域の交付額算定については、公平性の確 保の観点から内容について協議する。
431	42	4	3	1	高齢者等間口除雪事業	建設管理G	80件	高齢者等間口 除雪 事業件数	年間80件	年間80件	75件	継続	78件	継続	75件	継続	78件	継続	①評価項目の要因 平成30年度から高齢者の対象年齢を80歳から75歳以上へと 変更しているが、申請件数が若干増加し続けて75歳以上対象と なる世帯が増えている。 ②今後の展開 引き続き75歳以上を対象年齢とし、世帯件数の増加を図る。
431	43	4	3	1	高齢者等屋根雪下ろし事業	介護福祉G	198件	除排雪費用助 成対象件数	200件	200件	204件	継続	201件	継続	208件	継続	202件	継続	①評価項目の要因 自力で屋根の雪下ろしをすることが困難な方が、町で安心して 暮らせるよう本事業を活用していただくべく、引き続き利用件数に より評価する。 ②今後の展開 自力で屋根の雪下ろしをすることが困難な方が、町で安心して 暮らせるよう継続して事業を展開する。また、委託業者の人手不 足等の課題については引き続き協議する。
432	44	4	3	2	リフォーム補助事業(融雪槽)	建設管理G	50件	リフォーム補助 件数	年間23件	年間23件	0件	評価不能	0件	評価不能	0件	評価不能	0件	評価不能	①評価項目の要因 評価不能 ②今後の展開 リフォーム補助に一括した事業となつてから(H24)合計で5件の 申請がなく、単独の評価は難しい。 再度制度の周知を図る。
441	45	4	4	1	し尿等一般廃棄物区域外処理事業	住民G	搬入率 100%	連携事業数	20事業	20事業	搬入率 100% (773,3000)	継続	達成率 94.9% (1,159KL)	継続	達成率 94.9% (1,118KL)	継続	達成率 94.9% (1,110KL)	継続	①評価項目の要因 し尿の収集は町内業者が請け負い、し尿・汚泥の浄化処理を旭 川環境センターで行っている。 ②今後の展開 下水道への接続及び浄化槽の設置を推進することでし尿の収 集量を減らし、衛生的な生活環境を実現する。
441	46	4	4	1	愛別町外3町塵芥処理組合事業	住民G	搬入率 100%	連携事業数	20事業	20事業	搬入率 100% (1,658,820 kg)	継続	達成率 97.7% (133万kg)	継続	達成率 97.7% (182万kg)	継続	達成率 97.7% (169万kg)	継続	①評価項目の要因 愛別町外3町で構成する組合で町内のゴミ処理について、広域 で処理を行っている。 ②今後の展開 ・今後も事業を継続する中で、プラスチックごみの分別、再利用等 の取り組みを進め、一般廃棄物の抑制に努める。 ・ゴミ処理施設の延命化工事を年次計画的に実施する。
442	47	4	4	2	ブロードバンド整備事業	情報防災係	0地区	光回線や高速 無線通信環境 導入地区	1地区増加	3地区増加	0地区	継続	8地区	達成		達成		達成	①評価項目の要因 令和3年度に達成 ②今後の展開 引き続き快適なブロードバンド環境を地域に提供できるよう、通信 環境及び基盤の維持管理を行う